

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 山城千秋
担当理事 宮城政剛



「新型コロナウイルス感染症」関連資料の提供について

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。

那覇市保健所・仲宗根所長より「沖縄県疫学・統計解析委員会」からの報告事項をご提供いただきましたので下段にてご報告致します。

☆ 問合せ先（那覇市医師会 事務局：前泊・上原 / 電話 098-868-7579）

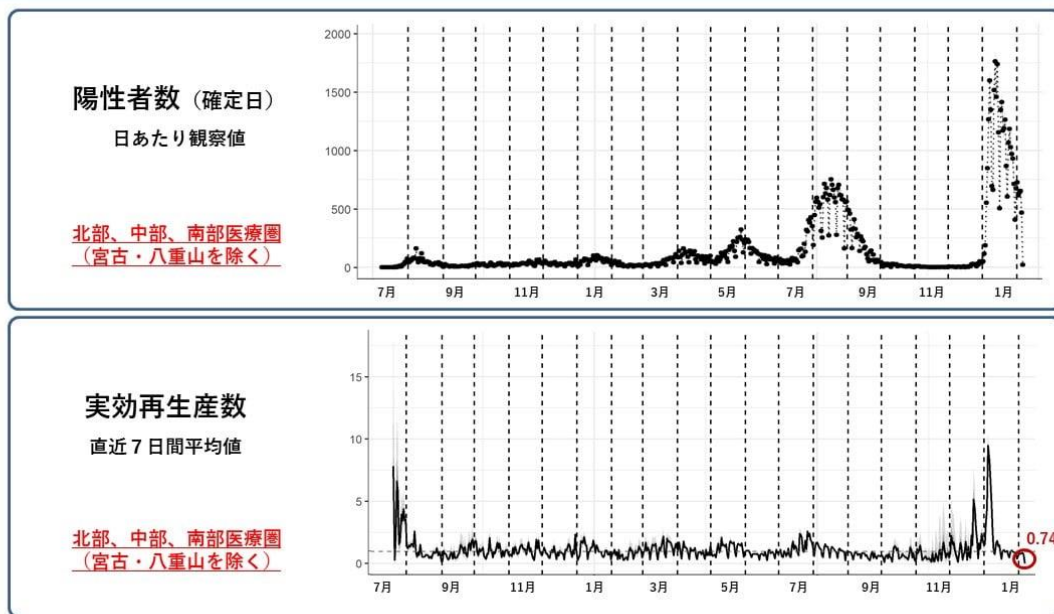
.....記.....
◎ 沖縄県疫学・統計解析委員会から【現状】と【推定】と【解説】をいただきましたので、ご報告致します。（取扱注意でお願いいたします。） 【那覇市保健所 所長 仲宗根 正】

【 現 状 】

■ **新規陽性者数・実効再生産数**：沖縄県における先週（1月31日-2月6日）の新規陽性者数は、4,344人（先々週 6,851人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R) *1は0.74 [最小値 0.41-最大値 0.91]、このうち那覇市は0.74 [0.57-0.91]でした。また、宮古は0.74 [0.26-1.04]、八重山は0.49 [0.27-0.61]でした（図1）。沖縄県全体で流行は縮小しています。

(*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。）

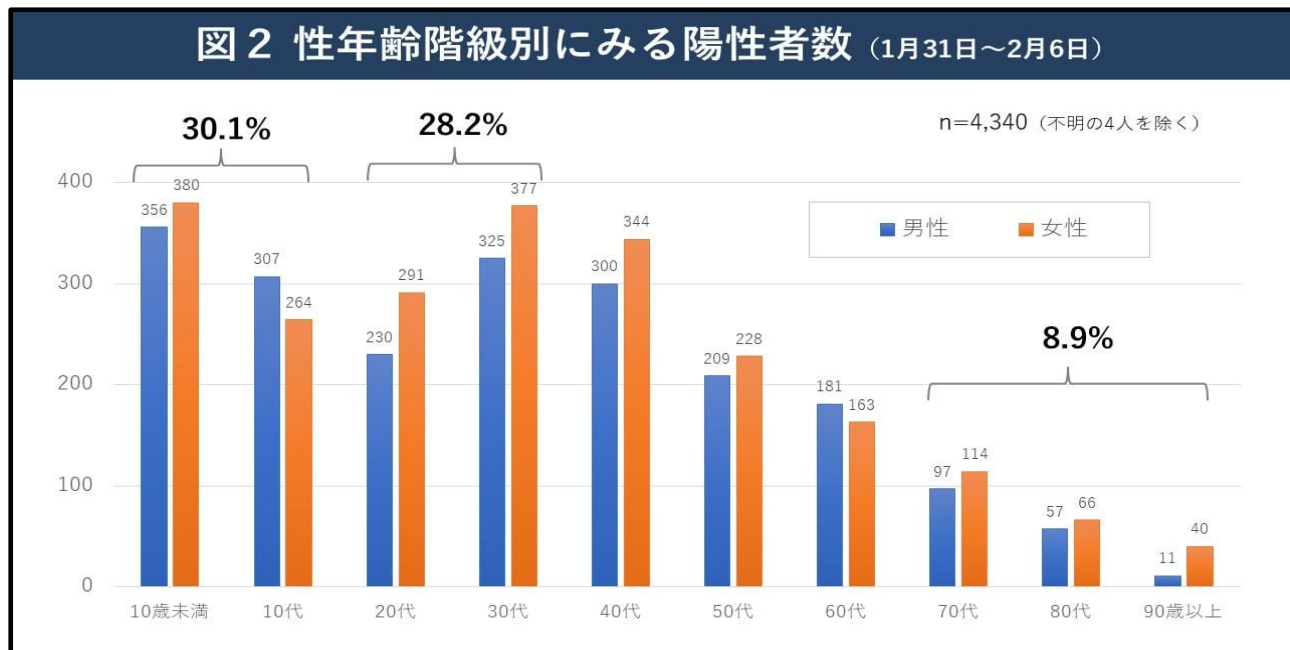
図1 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）



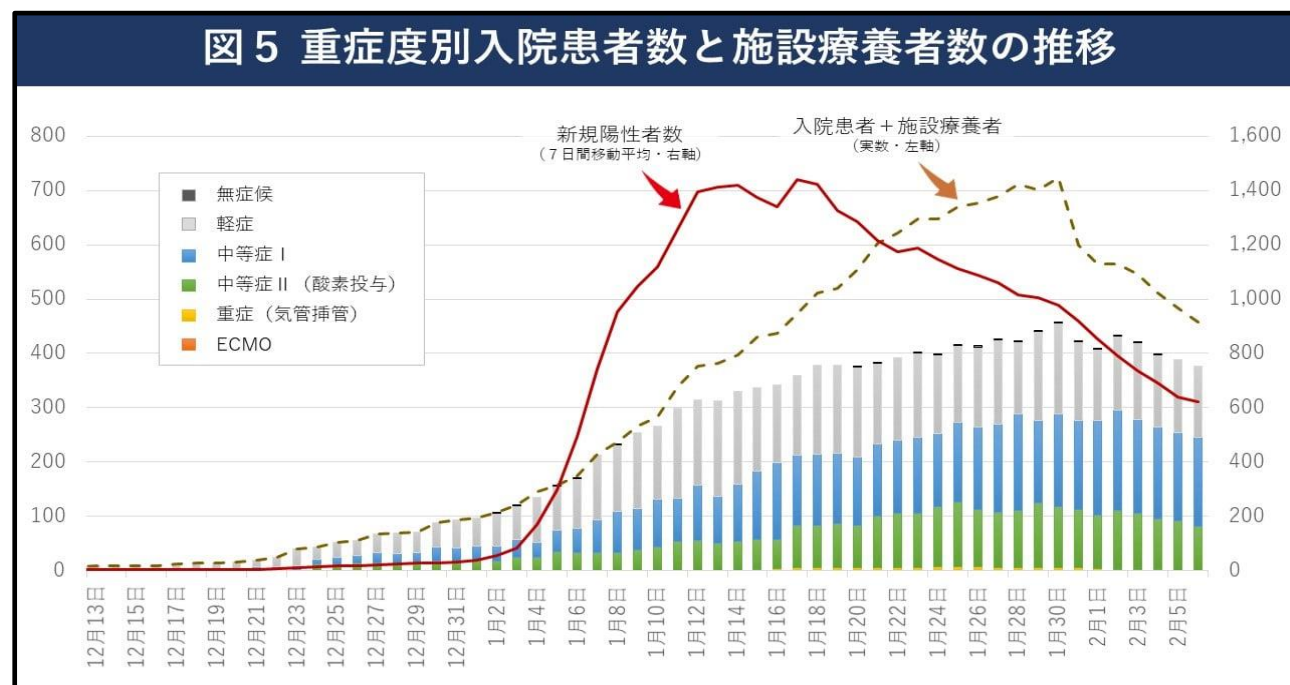
■ **年代別推移**：年齢階級別では、10歳未満が736人（17%）と最多で、30代702人（16%）、10代571人（13%）と続きます。すべての年代において減少しています。性差では、10代を除く全ての世代において女性が多いことが特徴となっています（図2）。

■ **保健所管区別・市町村別推移**：保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部249人（先々週381人）、中部1,699人（先々週2,564人）、那覇市953人（先々週1,487人）、南部1,162人（先々週1,871人）、宮古94人（先々週135人）、八重山121人（先々週344人）でした。すべての地域で減少が続いています。なお、県外からの渡航者は46人（1.1%）でした。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順に読谷村 450、嘉手納町 401、北谷町 382でした。なお、国頭村と東村では、高齢者施設での集団感染の影響もあって陽性者数が増加しています。



■ **入院患者数推移**：入院患者数は、先週末（2月6日時点）で379人と1週間前より77人減少しています。酸素投与など中等症患者は246と1週間前より37人減少しています。また、気管挿管など重症患者は2人と1週間前より3人減少しています。入院患者数は1月30日をピークにして減少に転じています。この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が79人おられ、1週間前より189人減少しています（図5）。

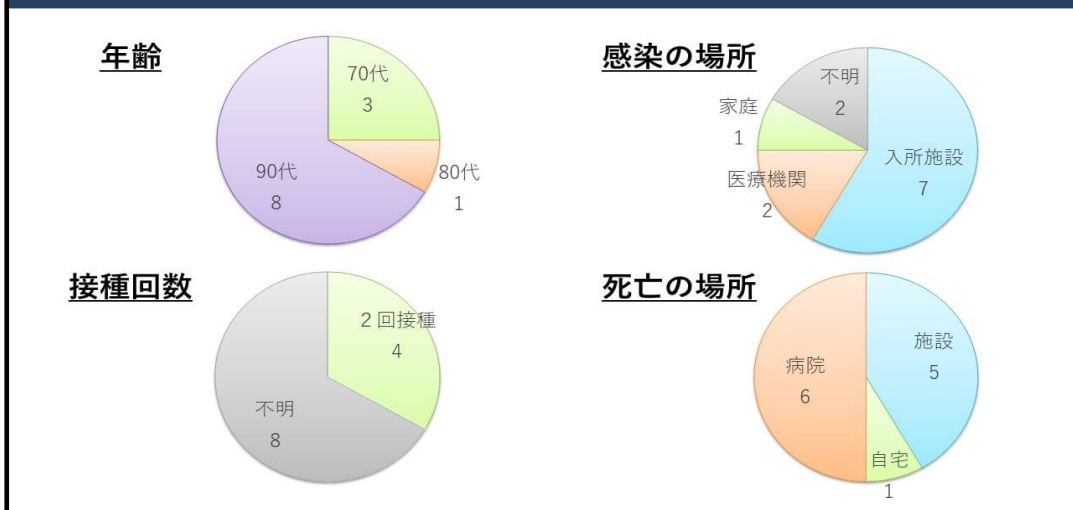


■ **死亡者**：1月1日から2月6日までに、新型コロナウイルスへの感染を確認した死亡者は12人でした。70代が3人、80代が1人、90代が8人であり、ワクチン接種回数は2回が4人ですが、8人については不明です。

保健所の疫学調査によると、感染の場所は入所施設における感染が7人と最多であり、医療機関2人、家庭1人、不明2人でした。

また、死亡された場所は、病院6人、施設5人、自宅1人となっています（図6）。80代1人、90代4人の方が、かかりつけ医等による訪問診療により、施設での看取りを選択されておられます。

図6 沖縄県内における死亡例（2022年1月1日～2月6日，n=12）



【今後の見通しと対策】

沖縄県の流行は、減少傾向が継続しています。先週より高齢者の陽性者数も減少に転じたため、入院患者数について減りはじめています。今週の新規陽性者数は、2,000-3,000人と見込みます。全体では減少が続きますが、高齢者の減少には時間がかかると考えられます。また、今週末までに入院患者数は300-330人に至ると見込みます（図7）。

沖縄県では、重点措置を解除する目安について、新規陽性者数が10万人あたり200人/週以下（県全体で2,970人/週以下）、病床占有率50%以下（入院患者数322人以下）としていますが、現状の実行再生産数が維持された場合には、重点措置が延長された2月20日までに沖縄県全体で基準を下回るものと考えられます。

今週より宮古島市、多良間村が先行して解除となっていますが、地域での流行は続いています。基本的な感染対策を保ちながら、再流行することがないように徐々に活動を再開させてください。とくに旧十六日祭（2月16日）では、多人数で高齢者の世帯を訪問したり、一緒に食事をする事は避けていただければと思います。

また、本土では大きな流行が生じているため、帰省などで渡航者を受け入れる際には、事前に検査を受けて陰性を確認するように求めてください。渡航者を交えた多人数での会食については、できるだけ控えていただくようにお願いします。

図7 今後1週間（2月7日-13日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県
年齢群別重症化率； 厚生労働省
平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）				入院患者数※				重症患者数※			
	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0
北部	126	254	511	1,030	41	46	55	70	0.0	0.0	0.0	0.0
中部	865	1,742	3,508	7,064	92	112	144	198	0.0	0.0	0.1	0.1
那覇市	504	1,014	2,042	4,112	82	98	123	164	0.6	0.7	0.7	0.7
南部	582	1,171	2,358	4,749	68	82	106	144	0.6	0.7	0.7	0.7
宮古	45	90	181	365	9	10	12	15	0.0	0.0	0.0	0.0
八重山	65	130	262	527	9	10	12	16	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,185	4,401	8,863	17,847	301	358	452	607	1.3	1.4	1.4	1.5

※ 2月13日時点の見込み数

沖縄県疫学統計・解析委員会